refuseと reject の対照意味分析

The Contrastive Semantics of 'refuse' and 'reject'

(平成15年9月受理)

島 居 孝 栄*(TORII Kouei)

Abstract

This paper offers a contrastive analysis of the meanings of 'refuse' and 'reject.' The analysis was made based on the descriptions of these words in dictionaries and their actual uses in newspapers and other articles. The results of the analysis show that 'refuse' means to show or state strong unwillingness to accept or give anything or to do anything and 'reject' means to firmly show or state strong unwillingness to accept static objects, such as things, ideas, or values.

1 はじめに

筆者は、ここ数年英語の類義語の意味分析に取り組んでいる。鳥居(1995)¹¹では say, tell, speak, talk を、鳥居(1998a)²¹では choose, select, elect を、鳥居(1998b)³¹では chance, opportunity, occasion を、鳥居(2000)⁴¹では all, whole, entire, total を、鳥居(2003)⁵¹では foolish, silly, stupid を、それぞれ分析した。今回は、日本語に訳した場合、同じように「拒否する」の意味になる動詞 refuse と reject を対象として、意味分析を試みる。

分析の方法はこれまでと同様で、まず辞書・辞典 の記述から大きな見通しを立て、次いで実際に収集 した用例から分析・考察をさらに推し進めることに する。

2 辞書・辞典の記述

ここでは、辞書の記述から、refuse と reject の意味の違いについて、大きな見通しを立ててみる。参照 した辞書は、小学館 Progressive English-Japanese Dictionary (1987)⁶⁾、小学館Random House English-Japanese Dictionary (1994)⁷⁾、三省堂 The New Global English-Japanese Dictionary (1994)⁸⁾、研究社 New College English-Japanese Dictionary (1994)⁹⁾、大修館Genius English-Japanese Dictionary (1994)¹⁰⁾、ベネッセ New Proceed English-Japanese Dictionary

(1994)¹¹⁾ 、桐原書店 Longman Dictionary of Contemporary English (1987)¹²⁾の7つである。

まず、例文を見ていて、拒否の対象に違いがあるということに気がついた。違いをとらえるために、 拒否の対象を大まかなグループに分類し、refuse, reject のそれぞれがどのグループを対象とするかを考えてみることにした。辞書の日本語訳を参考にして、拒否の対象を分類してみると、大きく6つのグループに分けられることがわかった。6つのグループとは、たとえば次の例文に示されているようなグループである。

- She refused his offer to help her.
 (Global)
- (2) They refused Tom the promotion.
 (Progressive)
- (3) I proposed to her, but she rejected me. (Proceed)
- (4) My stomach still rejects anything solid. (College)
- (5) reject all imperfect merchandise(College)
- (6) She refused to marry him. (Genius)
- (1) \sim (6) において拒否の対象となっているものを順に見ていくと、(1) においては his offer という、本来ならば「受け入れるべきもの」、(2) においては the promotion という「相手に与えるためのもの」、(3) においては me という「人そのもの」、(4) においては anything solid という栄養素としての食

^{*} 福島工業高等専門学校 一般教科 (英語) (いわき市平上荒川字長尾 30)

物、すなわち「医学的な対象物」、(5) においては all imperfect merchandise 、すなわち「不良品」、(6) においては to marry him という「行為」が、それぞれ拒否の対象となっている。以下、この「受け入れるべきもの」、「相手に与えるためのもの」、「人そのもの」、「医学的な対象物」、「不良品」、「行為」の 6つのグループそれぞれについて、それを対象にした用法が、refuse, reject にあるかどうかをまとめてみよう。

- 1)「受け入れるべきもの」を対象とする用法 この用法は、refuse, reject どちらにもある。
 - (7) I had to refuse his invitation. (Genius)
 - (8) She rejected my suggestion. (Longman)
- 2)「相手に与えるためのもの」を対象とする用法 この用法は、refuse のみである。reject には例文 が見当たらなかった。
 - (9) The bank refused the company a loan. (College)
- 3) 「人そのもの」を対象とする用法 この用法は、refuse の場合、あまり例文は見当た らなかったが、College には例文が載っていた。 reject の方は、ほとんど (Genius を除く) の辞書 に例が載っていた。
 - (10) I could not refuse them. (College)
 - (11) The boy is rejected by his parents. (Global)
- 4)「医学的な対象物」を対象とする用法 この用法は、reject のみである。refuse には例文 が見当たらなかった。
 - (12) If tissue types are not matched properly, a patient undergoing a transplant will reject the graft. (Random)
- 5) 「不良品」を対象とする用法 この用法は、reject のみである。refuse には例文 が見当たらなかった。
 - (13) Choose the good apples and reject the bad ones. (Longman)
- 6)「行為」を対象とする用法 この用法は、refuse のみである。reject には例文 が見当たらなかった。
 - (14) I refuse to answer that question.
 (Longman)

以上の相違を表にまとめると、表1のようになる。(\bigcirc は用法があることを、 \times は用法がないことを示す。) 表1から refuse と reject の主な相違点を抽出す

ると、

- 1) 「相手に与えるためのもの」を対象とする用 法は、refuse のみにある。
- 2) 「医学的な対象物」、「不良品」など物そのも

Table 1 Objects of refusing or rejecting

	refuse	reject
受け入れるべきもの	0	0
相手に与えるためのもの	0	×
人そのもの	0	0
医学的な対象物	×	0
不良品	×	0
行為	0	×

のを対象とする用法は、reject のみにある。

3) 「行為」を対象とする用法は、refuse のみに ある。

のようになる。

さらに、「受け入れるべきもの」は、refuse, reject どちらの拒否の対象にもなりうるわけであるが、対象になる語について詳しく見てみたところ、少し違いがあることがわかった。まず、Longman, Genius は、invitation は refuse の対象にしかならず、一方plan, suggestion, proposal は reject の対象にしかならない、ということを指摘している。また、Progressive, Random は、たとえば

(15) Young people reject traditional morality.
(Progressive)

のように、reject には伝統、証拠などを無価値、不満足、不適当なために退けるという用法があることを指摘している。この点に注目して例文を見直してみると、「受け入れるべきもの」が対象となっている場合は、refuse は特定の相手から与えられたものを拒否する例文のみであった。特定の相手から与えられたというのではなくて、受け入れるべきかどうかを判断する客観的な対象を目的語とする用例は、reject にしか見当たらなかった。

以上が辞書の記述から refuse と reject の拒否の 対象の違いについて気づいた点であるが、7つの辞 書のうち Longman を除く6つには、refuse と reject の意味合いの違いについての記述も載っていたので、 ここに紹介しておこう。

(16) Progressive

refuse:きっぱりした拒絶 reject:激しい拒絶

(17) Random

refuse:断固として拒む

鳥居: refuseとrejectの対照意味分析

reject:断固として激しく拒絶する

(18) Global

refuse:はっきりと頼まれたことを断る reject:強い態度で、時には敵意をもって断ること

(19) College

refuse:断固とした強い態度で断る reject:refuse よりさらに強い態度できっぱ りと断る

(20) Genius

reject:refuse より強調的で堅い語

(21) Proceed

reject:refuse よりも断り方がきつい ほとんどの辞書で同様のことが指摘されている。す なわち、reject の方が refuse より強く、きっぱり拒 絶する意味合いがある、という指摘である。

3 実例からの考察

2の考察で気づいた点について、実例からさらに 考察してみる。実例は新聞 (The Japan Times 以下 J.T.) や論説などから、refuse を 53 例、reject を 51 例収集した。

(A) 拒否の対象の比較

まず、収集した refuse と reject の実例の拒否の 対象について比較してみる。全用例を表 1 に従って 分類すると、表 2 のようになる。

表2の大まかな傾向について、2の考察で気づいた点に沿って見ていくと、次の3点が指摘できる。

- 1) 「相手に与えるためのもの」を対象とする用 例は、refuse にのみ見つかった。
- 「医学的な対象物」、「不良品」など物そのものを対象とする用例は、refuse, reject ともに皆無であった。
- 「行為」を対象とする用例は、refuse のみに 見つかった。

残念ながら用例が見つからなかったので、2) は除くとして、1) と 3) は 2 で指摘したことと合致している。以下、1) と 3) の代表例を挙げておこう。

「相手に与えるためのもの」を対象とする場合

(22) In California, the state with the largest number of immigrants absolutely and proportionately, Governor Pete Wilson won public support by urging the denial of public education to children of illegal immigrants, refusing citizenship to U.S.-born children of illegal immigrants,

Table 2 Frequency of each object of refusing or rejecting

	refuse	reject
受け入れるべきもの	5	48
相手に与えるためのもの	6	0
人そのもの	1	3
医学的な対象物	0	0
不良品	0	0
行為	41	0
計	53	51

and ending state payments for emergency medical care for illegal immigrants.

(Samuel P. Huntington "The Clash of Civilizations" 金星堂 (2000) p.81)

(23) The electoral calculation that prompted both German Chancellor Gerhard Schroeder and his rival, conservative candidate Edmund Stoiber, to refuse German's backing to U.S. President George W Bush's projected attack on Iraq reflects the German public's wish to have no foreign policy at all—least of all a war policy.

(J.T. Wednesday, September 25, 2002 p.18)

「行為」を対象とする場合

- (24) Although Iraqi authorities deny that such weapons systems exist, they refuse to allow inspectors back into the country to confirm the Iraqi position.
 - (J.T. Thursday, March 28, 2002 p.1)
- (25) For the time being, Schliemann's archaeological career was halted. He wanted to go on to excavate Mycenae, the city of Agamemnon, in Greece. But the Greek government, mindful of the way he had smuggled his treasures out of Turkish territory, refused to give him a chance to try the same trick on them.
 - (Robert Silverberg "Lost Cities and

Vanished Civilizations" 英宝社 (1993) p.57)

次に、2で「受け入れるべきもの」は refuse, reject どちらの拒否の対象にもなりうるが、対象になる語に少し違いがあることを指摘したが、この点についても実例で確認してみよう。「受け入れるべきもの」が対象になっている全用例の目的語を全て抜き出し、2の考察に従って、「特定の相手から与えられたもの」と「受け入れるべきかどうかを判断する客観的な対象」に分類してみると、表3のようになる。(同じ語でも文脈によって意味合いが異なるため、異なるグループに分類したものもある。)

表3を、2で指摘した点に注目して見ていくと、次の3点に気がつく。

- invitation を目的語とする用例は、reject の みに見つかった。
- 2) proposal, suggestion を目的語とする用例は、 reject のみに見つかった。(plan を目的語と する用例は、残念ながら、見つからなかった。)
- 3) 「受け入れるべきかどうかを判断する客観的な対象」を目的語とする用例は、refuse にも 1 例見つかったが、reject の方が圧倒的に多かった。
- 1) は、辞書の記述に反している。refuse の例は少ないので、invitation を目的語とする用例が見つからなかったことはやむをえないかもしれないが、reject にこの用例が存在するということは、辞書の指摘に反している。2) は辞書の記述に合致している。3)は、refuse にもこの用例が存在したという点では、辞書の例文とは異なっていたが、reject の方が圧倒的に多いということを考えると、ほぼ辞書の記述に合致していると言える。

以下、「受け入れるべきもの」を対象とする用例の 代表例をいくつか挙げておこう。

「特定の相手から与えられたもの」を目的語とする 場合

refuse の例

- (26) The expected shakeup of the 17-member Cabinet will be the first since Koizumi took office in April 2001. Though the moves may be minor, Koizumi has reportedly broken with tradition by refusing recommendations to appease party factions.
 - (J.T. Tuesday, October 1, 2002 p.1)
- (27) Officer Eduardo Delacruz was suspended for 30 days without pay last month after he refused a sergeant's order to arrest a

homeless man found sleeping in a parking garage.

(J.T. Friday, December 27, 2002 p.1) rejectの例

- (28) Williams had withdrawn from the established church before leaving England, and he rejected an invitation to become a clergyman in the Boston church on the grounds that he dared not minister to an unseparated people.
 - (Winton U. Solberg "A History of American Thought and Culture" 金星堂 (2001) p.8)
- (29) After a long day and little progress, the International Whaling Commission on Thursday rejected a Japanese proposal that would have lifted the commercial whaling moratorium that has been in effect since 1986.
 - (J.T. Saturday, May 25, 2002 p.1)
- (30) China on Monday angrily rejected a suggestion by Taiwan's leader that the island allow a referendum on its future, accusing him of trying to "split China."

(J.T. Wednesday, August 7, 2002 p.1) 「判断の客観的な対象」を目的語とする場合 refuse の例

- (31) Employers worry about the poor academic preparation of recent high school graduates. Worse still, some Black teenagers think that it is "cool" to be unsuccessful, ignorant and indifferent. They openly refuse the middle-class model of American success.
- (Joan McConnell "Understanding the United States" 金星堂 (2001) p.59) reject の例
- (32) The Christian philosophers of the Middle Ages taught their students by explaining the works of Aristotle. They did this in a critical way; whenever what Aristotle said was contradicted by Christian beliefs, they did not hesitate to correct or reject Aristotle's ideas.
 - (Peter Hodgson "Science and Christianity" 金星堂 (1999) p.17)
- (33) The Enlightenment arose partly out of a revolt against Christianity. Men

鳥居: refuseとrejectの対照意味分析

Table 3 Detailed comparison of objects of refusing and rejecting in the item "what is to be accepted" in Table 2

	refuse		reject	
	measures	1	treaty	2
	desire	1	request	2
	recommendation	1	motion	2
	order	1	proposal .	2
			idea (提案として)	2
			ceasefire	1
			plea	1
			arrest warrant	1
特			demand	1
定			thought (提案として)	1
の			decision	1
相			take over	1
手				1
か			move	_
5			accord	1
与	·		protocol	1
ブ え			argument	1
			offer]
S			call	1
ħ			discussion]
た			opportunity	
ŧ			need	. 1
の			annexation	1
			suggestion	1
			invitation	1
			food	1
			value (押し付けられた)	:
			explanation	
			approach	:
	小計	4	小計	3
	model	1	idea	
			theory	
			language and culture	
判			routine	
断			model	
<i>Ф</i> Л			heritage	
	·		authority	
客			belief	
観			private property, marriage,	
的				
な			and family	
対		•	laissez faire	
象			nonviolence	
			liberal program	
			description	
	小計		小計	1
計		5		48

educated as Christians rejected their heritage and relied upon reason rather than revelation as the route to truth.

(Winton U. Solberg "A History of American Thought and Culture" 金星堂 (2001) p.20)

(B) 拒否の強さの比較

2で、ほとんどの辞書が reject の方が refuse よりも強く拒否する意味合いがあると記述しているということを指摘したが、この点についても実例を確認してみた。収集した実例において、強くきっぱりと拒否したことを特に強調している修飾表現を抜き出してみると、次のようになる。

(34) refuse: openly (これは (31) の修飾表現) 以上1例

reject: firmly (2例)

in a tense standoff

immediately

flatly

angrily (これは (30) の修飾表現)

stubbornly

以上7例

reject の方が圧倒的に多いので、辞書の記述に合致 していると言える。以下、reject の代表例をいくつ か挙げておこう。

(35) In morning talks with Koizumi at the Prime Minister's Official Residence, Powell said that U.S. "takes seriously" a series of crimes allegedly committed by U.S. servicemen in Okinawa, according to a Foreign Ministry official.

But Powell flatly rejected any moves to revise the pact, saying now is not the time, the official said.

(J.T. Wednesday, July 25, 2001 p.1)

(36) There are some (both on and beyond the Korean Peninsula) who believe that Washington does not want to engage Pyongyang, and that America needs North Korea as an enemy in order to justify its military presence in Asia and its missile defense program. I firmly reject this argument.

(J.T. Friday, August 31, 2001 p.20)

(37) Almost all people who have learned the Japanese writing system, be they Japanese or foreigners, stubbornly reject the idea that the language can be written in any other way.

(Edwin O. Reischauer "Japan and the World" 朝日出版社 (1996) p.23)

(C) 意味の違いについての考察

2における辞書の記述についての考察と、(A)、(B) における実例の分析を踏まえて、最終的に refuse と reject の意味の違いについてまとめてみる。

まず、辞書の記述と実例を比較してみると、かなりの程度一致していることがわかる。相違点を挙げれば、rejectに「物そのもの」を対象とする実例が見つからなかったこと、rejectに invitationを目的語とする実例が見つかったこと、の2点となるが、これらを除けば、ほとんどが一致している。そこで、一致している主な点を抽出して、それを基にしてrefuseと reject の意味の違いについてまとめることにする。一致している主な点を挙げると、

- 1)「相手に与えるためのもの」を対象とする用法 は、refuse のみにある。
- 2)「行為」を対象とする用法は、refuse のみにある。
- 3)「受け入れるべきもの」が目的語になる場合、
 - ア) proposal や suggestion を目的語とする 用法は、reject のみにある。
 - イ)特定の相手から与えられたものではなくて、伝統や証拠など客観的な対象を、無価値、不満足なために拒否するという用法は、rejectに典型的なものである。
- 4) reject の方が refuse よりも強く拒否する意 味合いがある。

のようになる。これら 1) ~4) から、最終的に refuse と reject の意味の違いについてまとめてみよう。ま ず 1) から、reject が受け入れることのみを拒否す るのに対し、refuse は受け入れることも、相手に与 えることも拒否可能であることがわかる。すなわち、 reject が一方向的過程の拒否であるのに対し、 refuse は双方向的過程の拒否である。この点から、 refuse の方が reject よりも、より動的な過程の拒否 を表していると言える。これと同様のことが2)から も指摘できる。行為は、明らかに、物や事柄よりも 動的な過程である。行為を対象とする用法が refuse にしかないということは、refuse の方が reject より も、より動的な過程の拒否を表すということを示し ていると考えられる。さらに、以上の考察を踏まえ ると、3) についても説明がつく。proposal, suggestion、「伝統」、「証拠」などを、たとえば order, recommendation などと比較してみよう。order,

鳥居: refuseとrejectの対照意味分析

recommendation が、それに応じることを相手が期待 している、すなわち、双方向的過程を表しているの に対し、「伝統」、「証拠」は、特定の相手から与えら れたものではなくて、受け入れるべきかどうかの審 議や判断の対象として客観的に存在しているもの、 すなわち、より静的な過程を表していると言える。 また、proposal, suggestion は、特定の相手から与 えられたものではあるが、order, recommendation に比べると、それに応じることを相手が期待してい る度合はそれほど大きくはなく、審議や判断の客観 的な対象という意味合いが強いように思われる。し たがって、これらも、order, recommendation に比べ れば、より静的な過程を表していると言える。以上 のように、proposal, suggestion、「伝統」、「証拠」 などは、より静的な過程を表しているので、reject の対象に適していると説明することができる。最後 に、4)から、拒否の強さに関しては、refuse より reject の方が強いということは確かなようである。 なぜ reject の方が強いのか、その理由については、 あまりはっきりしたことは言えないのであるが、あ えて1)~3)から推測してみると、一般に、静的な 対象の方が動的な対象より単純明快であるから、 可・不可についてもはっきりしていて割り切りやす く、その分だけ、不可の場合には、拒否そのものも より明確で、きっぱりとしたものになるためと思わ れる。

4 まとめ

以上の考察を踏まえ、refuse と reject の意味の違いについて試案を提出する。

(38) refuse: 物のやりとり及び行為など動的な 過程を拒否すること

> reject: 物、概念、価値観など静的な対象の 受け入れを強く拒否すること

参考文献

- 鳥居孝栄、「say, tell, speak, talk の対照意味分析(I)」、『福島高専研究紀要第31号』、pp. 52-58、(1995)
- 鳥居孝栄、「choose, select, elect の対照意味分析」、『全国高等専門学校英語教育学会研究論集第17号』、pp. 1-10、(1998)
- 3) 鳥居孝栄、「chance, opportunity, occasion の対照意味分析」、『福島高専研究紀要第 37号』、pp. 91-96、(1998)
- 4) 鳥居孝栄、 「all, whole, entire, total の対 照意味分析」、 『福島高専研究紀要第 40 号』、 pp. 153-158、 (2000)
- 5) 鳥居孝栄、 「foolish, silly, stupid の対照意味分析」、 『全国高等専門学校英語教育学会研究論集第22号』、 pp. 53-62、 (2003)
- 6) 『Progressive English-Japanese Dictionary』、 小学館、(1987)
- 7) 『Random House English-Japanese Dictionary』、 小学館、(1994)
- 8) 『The New Global English-Japanese Dictionary』、 三省堂、(1994)
- 9) 『New College English-Japanese Dictionary』、 研究社、 (1994)
- 10) 『Genius English-Japanese Dictionary』、大 修館、(1994)
- 11) 『New Proceed English-Japanese Dictionary』、ベネッセ、 (1994)
- 12)『Longman Dictionary of Contemporary English』、 桐原書店、(1987)